

小型UAVを用いた空中写真撮影 のための試験飛行を実施しました

——災害発生後の迅速な現地状況の把握に向けて——

～大規模土砂災害対策技術センター～

災害発生直後にいち早く現地の状況を把握することを目指し、小型UAV（無人航空機）を用いた空中写真の撮影技術について、その実用性や運用面での課題を検証するための試験飛行を行いました。

試験飛行は平成23年に深層崩壊・河道閉塞が発生した奈良県五條市の赤谷地区で行われ、国土交通省の職員約20名が参加しました。試験では実際に上空から写真撮影を行い、現地の状況を迅速に把握できることを確かめました。

実施日時：平成27年2月12日（木）

11:00～16:00

場 所：奈良県五條市大塔町 赤谷地区

参加者：近畿地方整備局河川部・近畿技術事務所・紀伊山地砂防事務所
職員約20名

■試験では実際の運用場面を想定して準備から飛行までにかかる時間を測定するとともに、撮影高度や飛行速度による違いなどを確認し、UAVの実用性を検証しました。



試験飛行に使用したUAV



試験飛行の様子（赤谷深層崩壊地）

■今回UAVで撮影した写真を組み合わせ、現地の垂直画像を作成することができました。

これにより、通常の飛行機やヘリによる現地調査に比べて低コストかつ簡易に現地の全体像を把握できる可能性が示されました。

■今後も様々な場面を想定した実証試験を重ね、実際の現場での活用に向けた取り組みを進めていきます。



UAVで撮影した写真から得られた垂直画像

UAVとは？

Unmanned Aerial Vehicle の略称で、無人航空機を指します。近年、軍事用の大型から小型の民間用まで幅広い用途のものが開発され、普及が進んでいます。

災害対応の場面では、人が直接行けないような場所での活動を比較的手軽に行うことができるため、迅速な状況把握など様々な面で活用が期待されています。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
近畿技術事務所 施工調査・技術活用課
〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1
TEL 072-856-1941（代）

